

城北自治連（町内会長会）だより

2026/8/12
20号
城北地区自治連合会
事務局：城北地区公民館



災害時の初動対応と声かけ・安否確認の大切さ

城北地区では、地震などの災害発生時に、地域の安全を守るための初動対応を特に重視しています。

阪神・淡路大震災では、助かった方の約八割が自力または近隣住民による支援で救助されており、地域内での初動対応が極めて重要であることが示されています。

城北地区では、こうした教訓を踏まえ、発災時には近隣同士の「声かけ」や「安否確認」を最も重要な初動対応と位置づけています。

高齢者や一人暮らしの方など、支援が必要な世帯への声かけは早期の支援につながり、地域の安全を大きく高めます。

【主な情報】

- ◎道路の亀裂・通行不能箇所
- ◎家屋の倒壊・破損
- ◎ブロック塀・擁壁の崩落
- ◎電柱・電線の倒れ
- ◎避難所に関する情報
- ◎行政からの緊急情報 等

災害時の情報伝達については、町内会長がチェックリストに従って状況を整理し、周知が必要と判断された内容を「町内会長グループLINE」に寄せるしくみとなっています。

その情報をもとに、『公式：城北自治連合会LINE』を通じて住民の皆さまへ可能な範囲で情報提供を行います。



寄せられた情報は、必要に応じて鳥取市危機管理課などの行政機関へ報告し、救助が必要な場合には速やかに支援要請を行います。

ただし、大規模災害では行政職員自身も被災している可能性があり、支援がすぐに到着しない場合があります。

地域の安全を守るため、災害時の声かけ・安否確認、そして公式：自治連LINEへの登録にご協力をお願いいたします。

■一ロメモ：避難所生活でまず困るのは、トイレ・照明・暑さ寒さ対策・寝具の確保です。

【主な備蓄品】

- ・テント付きマンホールトイレ：3基
- ・携帯ウォシュレット：3個
- ・携帯ガスボンベ発電機：4台
- ・モバイルバッテリー：4台
- ・扇風機：複数台
- ・LED投光器：6台
- ・LEDランタン：40台
- ・プライバシーテント：20張
- ・毛布：50枚
- ・エアベッド：40個
- ・簡易ベッド：25台

す。特に地震時は、復旧作業の安全確保のため、施設内のトイレが使用禁止となります。

城北公民館では、こうした課題を少しでも軽減できるよう、左記の備蓄品を整えています。これらにより避難場所での生活環境の改善に努めていますが、食料・水の備蓄はありません。

また、備蓄品には数に限りがあるため、必要と思われるものは各自でご持参いただくことになります。



避難の判断を行う際には、まず周囲の状況を確認し、家屋の損傷や危険度を見て、短期の避難で済むのか、長期になる可能性があるのかを考えてください。あわせて、どこが安全に避難できる場所か、行政や自治連の情報を収集し、最も安全な場所へ避難することが大切です。

*短期は「避難場所」 *長期は「避難所」

避難する際は、身の安全を確保したうえで落ち着いて行動し、火の始末や戸締まりを確認してください。可能であれば家族や近隣へ一声かけてください。

持参品は飲み物・常備薬・貴重品・携帯電話など最低限で構いません。夜間や悪天候時は懐中電灯や雨具が役立ちます。避難所では、運営責任者（市職員）や防災会の指示に従い、周囲の方と協力しながら安全に過ごしましょう。